

各位

2014年4月10日

KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：森川  
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成26年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比88.4%、学生団体は同95.0%、団体旅行合計で同89.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比85.9%と前年を下回り、個人旅行については同99.8%と前年並であった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比90.4%であった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比102.4%、学生団体は同100.9%と好調に推移し、団体旅行合計では同101.6%と前年を上回った。企画旅行については同96.2%と前年を僅かに下回り、個人旅行については同103.4%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2週続いた大雪の影響を受けながらも98.8%と前年並みであった。

外国人旅行は、前年比101.9%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比95.5%となり、前年を僅かに下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体はソチ五輪の取り扱いがあった一方で、昨年複数の大型インセンティブツアーを取り扱った反動もあり、前年比89.1%となり、学生団体は同95.0%であった。この結果、海外団体旅行合計で同90.1%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年比102.1%、学生団体は同100.9%と前年を上回った結果、国内団体旅行合計で前年比101.4%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、大雪の影響を大きく受けた結果、取扱額で前年比87.8%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、中国四国、九州方面が好調を維持しているのに加え、首都圏・伊勢志摩・中部方面が好調であった一方で、北海道・沖縄・東北方面などは伸び悩んだ。

ホリデイは、引き続き東アジア方面を中心として全般的に不調である。各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、SITやクルーズなどが好調であった一方で、東南アジア方面の不調や大雪の影響もあり前年比94.2%であった。

バス旅行を除く国内旅行部門は、同107.9%と前年を大きく上回った。バス旅行部門は大雪の影響を大きく受けたものの、同102.2%と前年を上回った。

テーマ旅行部門は大雪の影響が大きく、同91.0%と前年を下回った。

以上